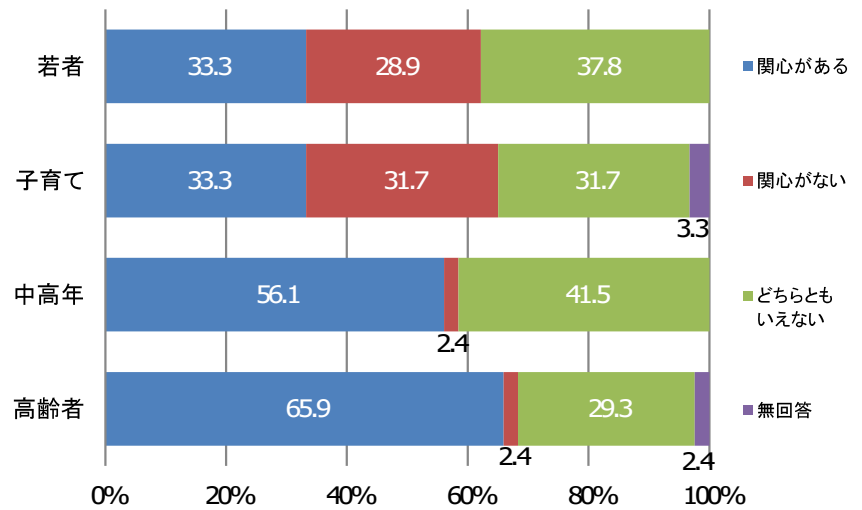
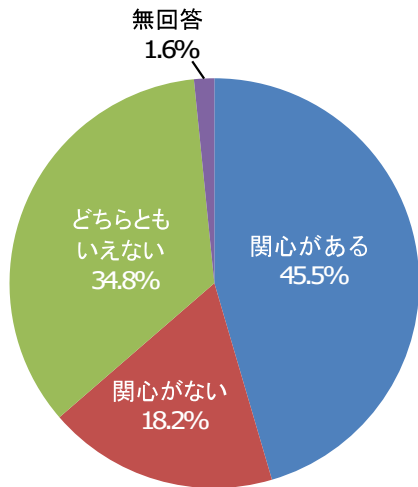


# <天竜川流域の景観について>

## ■問1 天竜川流域固有の景観への関心 (N=187)



- 天竜川流域固有の景観への関心については、「関心がある」が約5割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて「関心がある」の回答が多くなっています(若者と子育てでは同率)。

## ■問2 魅力を感じる天竜川流域の歴史的・文化的な景観 (N=187 複数回答)

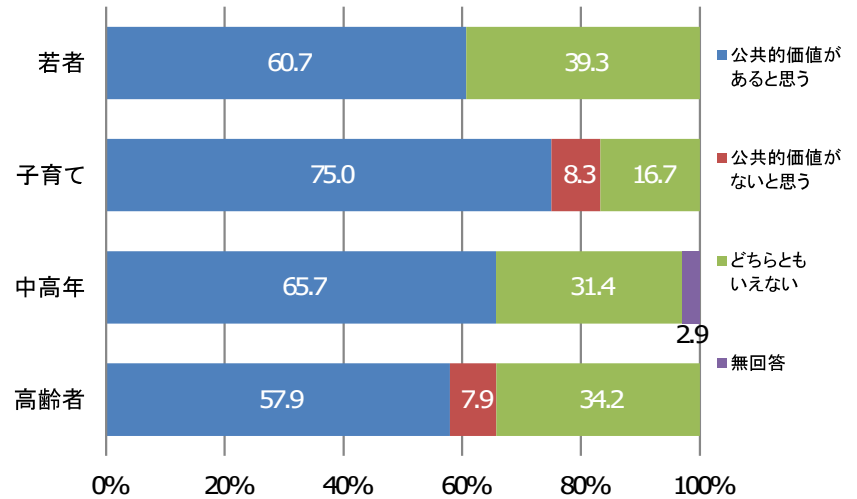
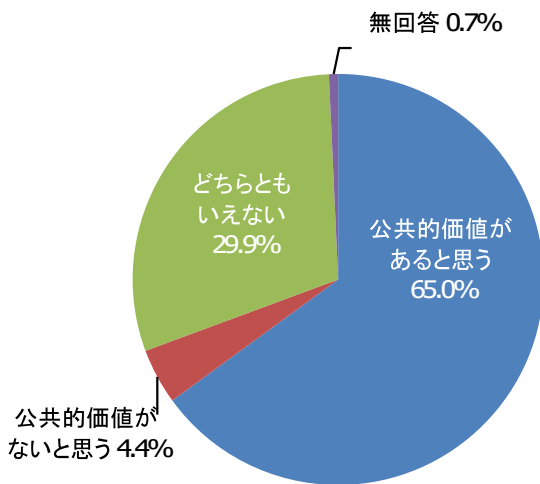
景観	割合 (%)	若者 (%)	子育て (%)	中高年 (%)	高齢者 (%)
伝統的な行事と生活文化が息づく佐久間や水窪の集落の景観	34.8%	22.2	23.3	51.2	48.8
天竜川とその支流沿いの山村集落の石垣や段々茶園	40.6%	24.4	33.3	51.2	58.5
交易の拠点として城跡や蔵などが残る二俣の市街地	24.6%	20.0	16.7	26.8	39.0
からっ風を防ぐホソバの生垣や屋敷林など緑豊かな集落の景観	15.0%	11.1	15.0	14.6	19.5
浜北小松の大鳥居など秋葉信仰を今に伝える街道の景観	34.8%	31.1	30.0	34.1	46.3
笠井街道沿いの宿場や門前町の風情が残るまち並み	19.3%	20.0	8.3	22.0	31.7
人工林が広がる天竜美林の林業景観	24.6%	17.8	21.7	26.8	34.1
遠州灘沿岸地域の砂丘や松林のまち並みと砂地農地の景観	21.9%	24.4	10.0	26.8	31.7
その他	0.5%	-	-	2.4	-
特になし	25.7%	37.8	36.7	14.6	7.3
無回答	1.1%	-	3.3	-	-

- 魅力を感じる天竜川流域の歴史的・文化的な景観については、「天竜川とその支流沿いの山村集落の石垣や段々茶園」が約4割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、「特になし」を除くと、若者では「浜北小松の大鳥居など秋葉信仰を今に伝える街道の景観」が、子育て・中高年・高齢者では「天竜川とその支流沿いの山村集落の石垣や段々茶園」が最も多い回答となっています(若者・子育てでは「特になし」が最も多く、中高年では「伝統的な行事と生活文化が息づく佐久間や水窪の集落の景観」も同率)。

### 問3 天竜川流域の歴史的・文化的な景観は「公共的な価値」を持っていると思うか

(N=137)

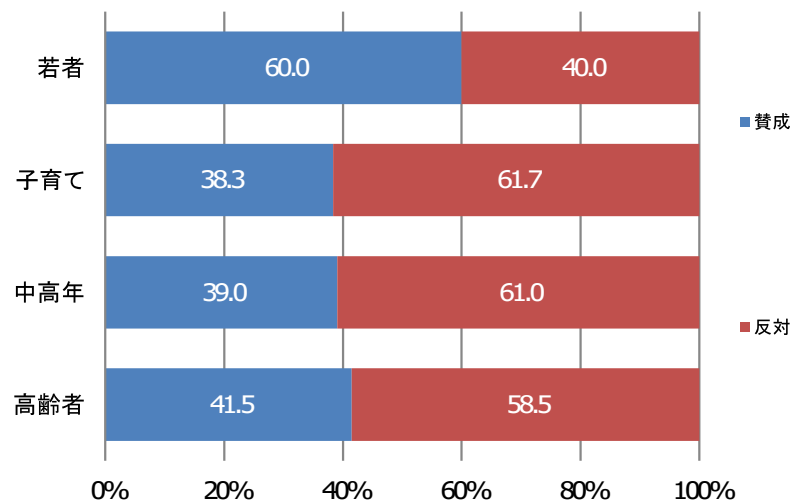
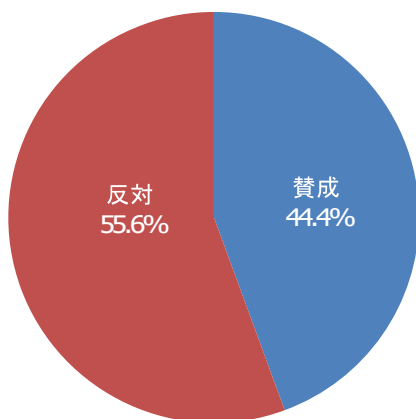
(問2で「1～9」のいずれかを回答した方)



- 天竜川流域の歴史的・文化的な景観は「公共的な価値」を持っていると思うかについては、「公共的価値があると思う」が約7割となっています。
- 世代別にみると、若者・高齢者の約6割、子育ての約8割、中高年の約7割が「公共的価値があると思う」と回答しています。

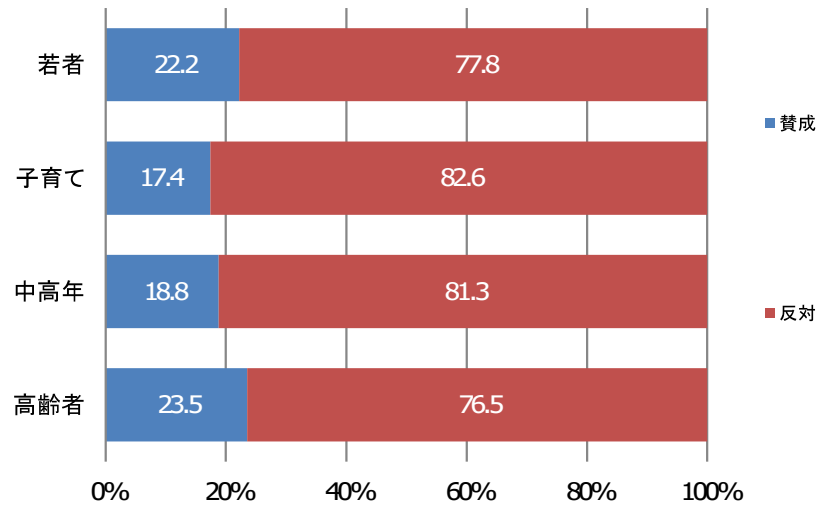
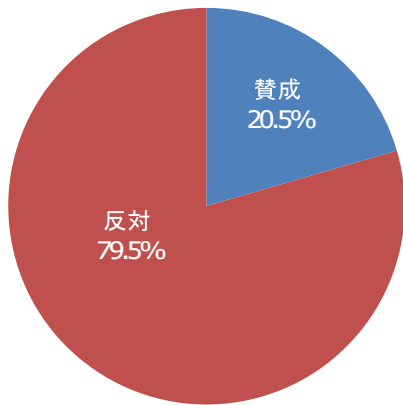
### 問4 天竜川流域の歴史的・文化的な景観を維持するために一人あたり年間1,000円の寄付をすることについて

(N=187)



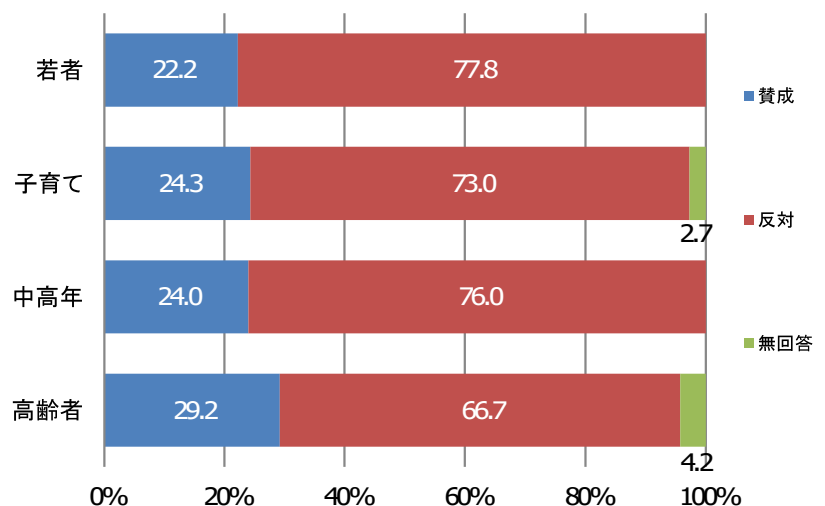
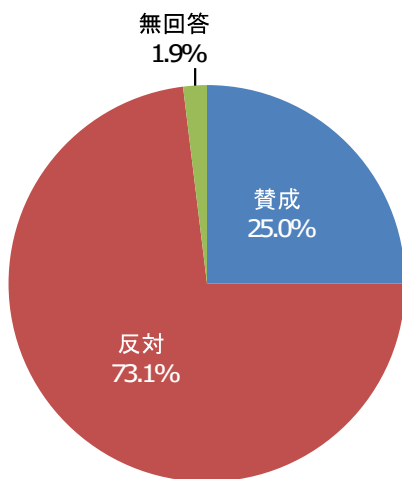
- 天竜川流域の歴史的・文化的な景観を維持するために一人あたり年間1,000円の寄付をすることについては、「賛成」が約4割となっています。
- 世代別にみると、若者の6割、子育て・中高年・高齢者の約4割が「賛成」と回答しています。

■問5 天竜川流域の歴史的・文化的な景観を維持するために一人あたり年間2,000円の寄付をすることについて (N=83)  
(問4で「1 賛成」と回答した方)



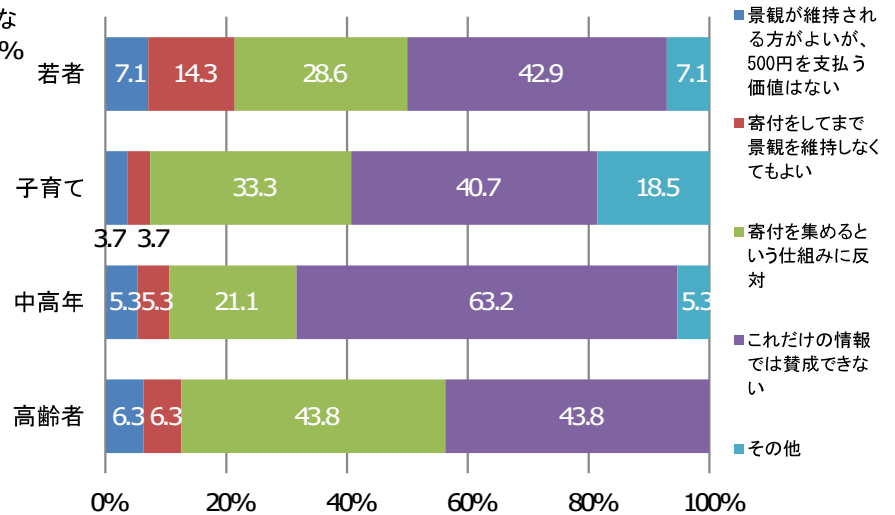
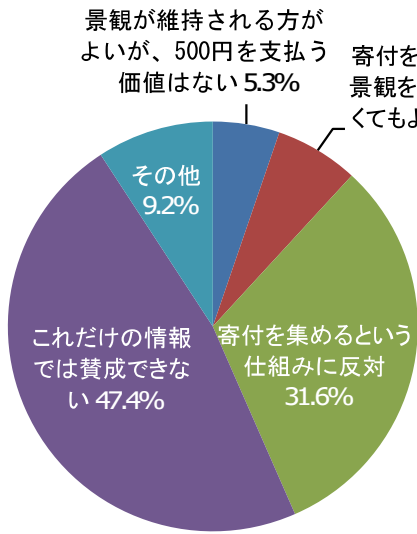
- 天竜川流域の歴史的・文化的な景観を維持するために一人あたり年間2,000円の寄付をすることについては、「賛成」が約2割となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「賛成」が約2割となっています。

■問6 天竜川流域の歴史的・文化的な景観を維持するために一人あたり年間500円の寄付をすることについて (N=104)  
(問4で「2 反対」と回答した方)



- 天竜川流域の歴史的・文化的な景観を維持するために、一人あたり年間500円の寄付をすることについては「賛成」が約3割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年の約2割、高齢者の約3割が「賛成」と回答しています。

■問7 天竜川流域の歴史的・文化的な景観を維持するために一人あたり年間500円の寄付をすることに反対の理由 (N=76)  
(問6で「2 反対」と回答した方)



- その他意見
- ・世帯単位での寄付
  - ・寄付ではなく、税金で維持する
  - ・寄付も税金も必要ない
  - ・景観よりも交通の便の改善が優先

- 天竜川流域の歴史的・文化的な景観を維持するために、一人あたり年間500円の寄付をすることに反対の理由については、「これだけの情報では賛成できない」が約5割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「これだけの情報では賛成できない」が最も多い回答となっています(高齢者では「寄付を集めるという仕組みに反対」も同率)。